

ひょうたんいけ

桜台小 学校だより
令和4年5月16日
第8号



5月10日(火)、11日(水)に、きょうだい学年でサツマイモの苗を植えました。園芸ボランティアの皆さんに学級園を整備していただき、土をふかふかにしてうねをつくっていただいたところへ、子どもたちは1本1本ていねいにサツマイモの苗を植えていきました。活動では、6年生がしっかりと1年生の世話をし、苗を植え終わった後にホースを使ってたっぷり水をあげていました。子どもたちの中には昨年秋にみんなで「やきいも」をしたことをしっかりと覚えている子もいました。コロナ禍が収束し、たくさんのサツマイモが収穫できて、秋にはみんなで「やきいも」ができることを心から願っています。

※学校ホームページ「桜台っ子ニュース」では、日々の学校の様子をカラーで紹介しています。



登校指導、お世話になっています。

5月11日(水)、朝の登校指導があり、「桜台小学校見守り会」や「PTA地区委員」の皆さんに、子どもたちの登校を見守っていただきました。「PTA地区委員」の皆さんからは、子どもたちの登校の様子について報告や感じられたことをあげてもらっていますので、今回、紙面を借りていくつか紹介をさせていただきます。

- 班長さんが、時々後ろを振り返って確認をしていたので、良いなと思いました。高学年の子が低学年の子の面倒をしっかりと見てくれていました。
- 「おはよう」と言うと、元気にあいさつを返してくれて、気持ちがよかったです。子どもの方からあいさつしてくれる子もいてすばらしいと思いました。
- 班長さんが手をあげると、後に続く子どもたちも手をあげて横断歩道を渡ることのできる班がありました。他の班の子どもたちにもまねをしてほしいです。
- 元気にあいさつをしてくれる班、横断歩道でしっかりと手をあげている班などそれぞれですが、班長さんが声を出している班は、他の子たちもしっかりとあいさつができているように思いました。
- 「PTA地区委員」の登校指導は月1回ですが、「桜台小学校見守り会」の方が毎朝登校見守りをしていただけるのは、本当にありがたいし、子どもたちも親の私たちも安心して感謝の気持ちでいっぱいです。
- 1年生の保護者の方が、集合場所まで来て子どもたちを見送ってくれていました。
- 元気にあいさつができる子とできない子がいました。おしゃべりに夢中になり、あいさつをしても返してくれない子がいました。横断歩道では、しっかり手をあげている子もいましたが、あげていない子の方が多かったです。
- 指導員がいるからなのか、交差点を渡るときに、ほぼ全員、安全確認をしていなかったため、少し危ない場面がありました。



現在の自分たちの登校班はどんな感じでしょう。「あいさつはできていますか?」「横断歩道で手をあげていますか?」「交差点や横断歩道を渡るときに、左右の安全確認はできていますか?」

「桜台小学校見守り会」や「PTA地区委員」の皆さんが、交通事故にあわず安全に登校できるように、毎朝子どもたちの登校を見守ってくれています。『ありがとう』という感謝の気持ちを持つとともに、今一度、自分たちの登校の状況を振り返り、より良い方向に改善して行ってほしいと思います。

卒業式の子どもたちの服装について

桜台小学校の令和4年度の卒業式は、令和5年3月20日(月)に予定しています。卒業式は、6年間の学びや成長の姿を披露する「最後の授業」と位置づけています。市内の小学校では、羽織・袴などの着慣れない服を着用した際に「動きにくい」「トイレがしにくい」「着くずれても直せない」など、子どもが困惑して練習の成果を発揮できなかったり、式の途中で体調不良を訴えたりする問題も起こっています。四日市市教育委員会からも先日、裏面の文書配付依頼がありました。ご一読いただきますようお願いいたします。



(文責 北住 昌文)